

## 楽しいひがたのススメ！行ってみようおきなわのひがた！

ワールドミッションクリスチャンスクール

3年 平良勝希 2年 ユジュンヨン

### 1. 研究のきっかけ

ぼくは、きょねんしおかぜの研究を泡瀬の海で行った。海へ行くと、水が引いていていつも歩いていけないところまで歩くことができた。海水がのこったところに魚やカニがいたので、つかまえようとしたらうまくいかなかった。だけど、そばにいたおじさんが浜に生えている草でつりざおを作り、魚やカニをつかまえる方ほうを教えてくれた。とても楽しくてわくわくした。

ひがたの遊びをみんなに伝えたいと思った。ジュンヨンにひがたの遊びを教えたら、楽しいと言ってくれた。ぼくの友だちのジュンヨンは韓国からきた。沖縄には、韓国や中国、台湾からたくさんのかんこう客がくる。アメリカの子もたくさんいる。だから、かんこう客の子もひがたで遊べるように遊び方を調査して、まとめて英語、韓国語、中国語にしたいと思った。そうすれば、おきなわのよいところがいろいろな国の人につたわると思う。

### 2. 目てき

子どもがひがたで遊べるように、遊び方をしらべる。とくに、魚やカニをつる方ほうをしらべる。りゆうは、ぼくたちはカニや魚をみたらつかまえたいと思うから。かんこう客の子も楽しめるようにパンフレットを作って、日本語、韓国語、英語、中国語にする。

### 3. けんきゅう方ほう

(1) ひがたに行って遊ぶ。遊びながら、どんな生き物がいるのか、見たい生き物をつかまえるにはどうすればいいのか、どこのひがたがいいのか、遊ぶ時にちゅういすること、海を守るためにちゅういすることを明らかにする。

とくに、遊び方はおじさんに教えてもらった草でつりざおを作り、貝をほってちぎってえさにするという方ほうがいいのかどうか調査した。かんこう客やぼくたちくらいの子が楽しむならどんな方ほうやエサがいいか考えて、じっけんした。

(2) 遊び方をひがたで遊んでいる人にインタビューする。美ら島財団の先生にアドバイスをもらう。

【 あわせ 】



【 やかた 】



#### 4. けっか

##### (1) 遊びかた

##### ① つりざおのじっけん



5種類（草、ハリガネ、とうめいな糸、ビニールひも、あさのひも）をためした。ぼくたちは、とうめいな方が魚に気付かれにくいと思ってよそうではとうめいな糸を一番にした。けっかは、よそうとちがった。ひがたでは、エサに魚が食いついたら、つり上げずに海水から地面に引っ張り出すと魚がつかまえられる。じっけんもすべて引っ張り出すように行った。

しゅるい	つかいやすきよそう	とくちょう	けっか
とうめいな糸	1	ほそくて、エサをむすべない。あなや岩の下にエサを入りたいのにちゃんと入らない。生き物に引っばられたらすぐにエサがとれてしまった。	×
草	2	エサは海の中に入って持つところほうかぶ。くりかえして使える。遊んだ後、そのまますてられる。カニとひっぱりごっこをしても切れない。	1
ハリガネ	3	エサをつけるのがたいへん。エサが切れてしまう。エサとすきまができてしまって、すぐにエサがはずれた。強いのでカニとのひっぱりっこには◎。	2
あさのひも	4	海水にうかんでしまう。そこをはっているカニやハゼが食いつけない。	×
ビニールひも	5	風にふかれたらういてしまって、海の中に入らない。	×



##### ② エサのじっけん

7種類（貝、魚ソーセージ、ふ、ポテトチップ、チョコ、サバのかんづめ、キムチ）でためした。ぼくたちが好きなもの、おやつでもってそうなものを使えないか考えた。

しゅるい	食いつきよそう	とくちょう	けっか
貝	1	魚もカニもよく食いつく。つりざおにも付けやすい。食べやすく、つりざおでひっぱりやすい。じゅんぴがいらぬい。海で手に入る。	1
魚ソーセージ	2	魚はつついて食べるけど、つれぬい。やわらかくてつりざおにつけにくい。	5
ふ	3	カニは食べたけど、ふがうかんでしまうのでハゼは食べれぬい。	3
ポテトチップ	4	思ったよりハゼとカニが食べた。でもひっばれぬい。くわえぬいでつついて食べる。	4
チョコ	5	食べぬい。海水につけてもとけぬい。	×
サバのかんづめ	6	食いつきがいい！ハゼもカニも食べる。カニは爪でほぐして食べていた。だからつれぬい。つりざおにむすびにくい。	2
キムチ	7	カニは食べた。ハゼは食べぬい。海水につけるとすぐに赤い色がなくなつた。からくなくなつたのかな？	6

(2) 遊びやすいひがた

沖縄市泡瀬のひがた、北谷アラハビーチ、恩納村の屋嘉のひがたで遊んだ。どのひがたもとくちょうがあつて楽しかった。

ばしょ	とくちょう	見れた生きもの
あわせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごく広い。どろと岩。</li> <li>・貝（マスオ貝）が取れる。エサにできる。</li> <li>・食べれる貝（赤貝とか）も取れる。</li> <li>・つりざおにする草がまわりにたくさん生えている。</li> <li>・しおだまりができる。そこに魚やカニがいる。</li> <li>・静かにしているとパチパチという音が聞こえる。てっぽうえびの攻撃している音。</li> <li>・たくさんの人がいる。貝をとっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トビハゼ、ミナミトビハゼ</li> <li>・イワガニ（オオカクレイワガニは死んだふりをする！）</li> <li>・てっぽうえび</li> <li>・たこ</li> <li>・ミナミコメツキガニ</li> <li>・貝（マスオ貝、赤貝など）</li> <li>・ハリクモヒトデ</li> </ul>
アラハビーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水よくじょうは干潮の時間になってもひがたにならなかった。人工だからと知った。</li> <li>・どろとサンゴだった。どろが多い。</li> <li>・ハゼやエビ、カニはいなかった。</li> <li>・死んでいる貝ばかりで、エサになる貝がなかった。</li> <li>・沖まで歩いて行くと、サンゴのところに青い魚がいたけど、深くをとれなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デバスズメダイ</li> </ul>
やかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すなやどろがない。ほとんど、サンゴ。</li> <li>・サンゴとサンゴのすき間に、魚が泳いでいる。人もおよげる。だけど、ぼくたちでは足が着かなくらいふかいところもある。</li> <li>・歩いているときにサンゴで足を切った。長ズボンがいい。</li> <li>・つりざおを作る草があまり生えてなかった。エサにする貝がなかった。魚ソーセージをとうめいなようきに入れて、しおだまりにおいた。魚が入ったら海からようきごと出したら魚がつかまえられた。</li> <li>・とても海がきれいだった。人が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青い魚、黄色の魚、あわせとくらべるとカラフルで大きな魚が多い。（デバスズメダイ、ネットアイズズメダイ、クラカオスズメダイ）</li> <li>・シャコ貝→とってはいけない！</li> <li>・カニは、毛むくじらのカニ（ケブカガニ）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(3) インタビューやもらったアドバイス

インタビュー、もらったアドバイス	わかったこと、じっけんしたこと
生きものをかんさつしたり、つかまえたい時は、大きな声を出したり、ばしゃばしゃしないでうごかずじーっとまつ。	とっても大切なこと！しずかにすると、ひがたにすんでいる生きものの音も聞こえる！あわせでは、てっぽうえびがパチパチ音をさせている。
つかまえたあとは、よくかんさつしたら、にがすこと。持って帰ってもすぐに死んでしまう。	じっけんしたら、つぎの日の朝には死んでしまった。くさくもなる。
あわせでは、どろにあながあいている。そこにつりざおを入れてまつ。つりざおがツンツンと動いたらハゼ、	カニとひっぱりっこをしたらすごい力だった。タコはつかまえられなか

ガシガシと動いて引っぱってもすごい力ではなさなかったらカニ。グイグイとうごいたらタコのかのうせいがある。	った。
ムツゴロウは沖縄にはいない。韓国にはいる。	ずかんにはのっているのているかと思った。
ひがたで注意しなくてはいけない貝は、うずまき・三角のもよりの貝。毒を持っている。二枚貝はだいじょうぶだが、ふちがするどくなっているものがあるのでちゅうい。	はだし、ビーチサンダルはあぶない。くつかマリンシューズ、ながぐつがよい。
エサになるマスオ貝は、浜から5mくらいはなれたところで、20cmくらいほるとよい。使う分だけとる。小さい赤ちゃんはにがす。ほったらあなをうめることも大事。	マスオ貝には、ピンク・白・むらさき色のしゅるいがある。なれないと見つけるのがたいへん。貝を開けるヘラがひつよう。
あわせの海はうめたて工じがはじまって、しおの流れがかわってしまい、すながながされている。コメツキガニのしゅうだんが住んでいるばしょがかわった。かたいどろのところが多くなった。ここで多くの生きものを見られるのもあと少しだろう、と聞いた。	ビックリした、生きものがいなくなることがあるんだ。海を守らないといけない。

## 5. こうさつ

- ・つりざおもエサもじぶんたちのよそうとちがったけっかになった。ハリガネのつりざおは、強いのでカニとひっぱりごっこで戦いたいときにはいいと思う。エサでは、貝が人気だった。味がついているほうがいいと思ったけど、どうしてだろう。ぼくたちが好きなポテトチップも食べたのはびっくりした。あまったら、じぶんで食べれるからむだにならない。だけど、カニと力くらべをしたり、魚を引っぱって地面の上に引き上げるのにはむいてない。
- ・おきなわの中でもひがたによってとくちょうがあって、見れる生きものがちがう。だから、遊びかたもかえて遊ぶといい。
- ・海を守ることはとても大切だと思った。今見ている生きものがこれから見れなくなったら悲しい。遊んだら、ゴミをそのままにしない。魚やカニをつかまえてよくかんさつしたら、にがす。ほったらうめる。岩をどかしたらもとにもどす。

## 6. けつろん

ぼくたちが考えるおすすめ遊び方は、海にあるものを使って遊べてゴミにならない草でつりざおを作り、魚やカニも食いつきがいい貝をエサにする方ほう。だけど、貝を探すのはむずかしいので、ほかのエサでもいいと思う。おすすめのひがたは、“あわせひがた”。りゅうは、あんぜんでいろいろな生きものが見れるから。おきなわらしいカラフルな魚がみたいなら“やかた”。でも、海がふかいところがあるとケガをしやすいのちゅういがひつよう。

\*パンフレットは、 <http://www.facebook.com/tidelands.play> にアップする予定です。